NABIC

PRESS RELEASE

2025 年 5 月 15 日

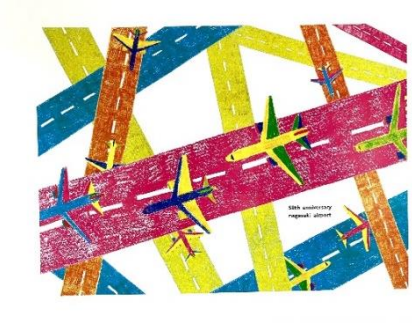
＼長崎空港開港50周年記念プロジェクト／

障がい福祉事業所と連携し、記念アートグッズを制作

～地域とつながる記念事業、デザインと共創が生んだ新しいかたち～

長崎空港ビルディング株式会社（本社：長崎県大村市、代表取締役社長：衛藤 勇）は、長崎空港の開港50 周年を記念し、長崎県佐世保市の就労継続支援 B 型事業所「MINATOMACHI FACTORY」および「佐世保布小物製作所」と連携し、記念アートグッズを制作いたしました。

本企画は、地域社会とのつながりを深めるとともに、「感謝の気持ちをかたちに」「長崎空港らしさを表現した記憶に残る記念デザインを」という想いからスタートしました。







■ デザイン制作：＝vote を起用した理由

デザイン制作は、「福祉施設」と「企業」の接点を創るプロジェクトブランド「＝vote（イコールボート）」にご協力いただきました。

＝vote は、地域資源を視覚的に魅力ある形で表現する企画力と、印象に残るアートワークを生み出すクリエイティブチームです。今回のコラボレーションは以下の理由から実現したものです。

・ 地域の空港と 50 年の歴史をテーマにした独創的で印象的なビジュアルの創出
・「モノ」だけでなく「ストーリー」を伝えるストーリーテリング力
・クライアントの想いに寄り添い、対話を重ねる共創姿勢
・地域性とデザイン性を両立させた、社会性とアート性の融合

このような共創から生まれた作品は、記念事業にふさわしいクオリティと温かさを備えています。

■ アートデザインの特徴

グッズに使用されるアートには長崎空港と地域の魅力を感じられるモチーフが丁寧に描かれています。

・海上空港ならではの風景（海・空・飛行機）

・長崎の象徴的な景観（箕島大橋、花文字山）

・教会をモチーフに設計された空港ターミナルの建築美

飛行機と空を主役に、50 年の歩みと地域風景を融合したデザインは、訪れる人々に「記憶に残る体験」を届けるビジュアルとして仕上がっています。

■ 制作に携わった事業所と取り組み

制作には「MINATOMACHI FACTORY」「佐世保布小物製作所」にご参加いただきました。事業所に通う皆さんがアート制作や製品加工に携わることで、「働く喜び」「表現の場」としての広がりが生まれています。

この取り組みが、単なる記念グッズ制作にとどまらず、持続可能な地域社会づくりや、誰もが活躍できる環境づくりにもつながるものと考えています。

■商品ラインナップ予定

・記念ポストカード

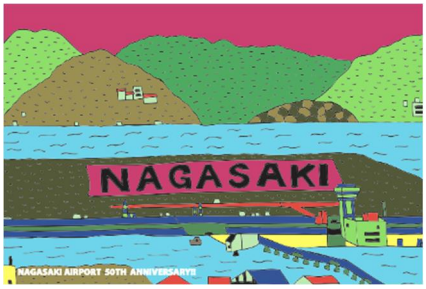
・ノート

・トートバッグ

■ 今後の展開

記念グッズは、長崎空港で開催予定の「50 周年記念イベント」で配布するほか、今後の販売や更なる展開についても検討中です。

長崎空港は今後も「地域とつながる空港」として、誰もが参加できる取り組みを推進し、50 年の感謝を込めて、訪れるすべての方々に長崎の魅力と温かさを届けてまいります。



【お問い合わせ】
長崎空港ビルディング　営業部営業推進グループ　担当 大崎
TEL：0957-52-8909　MAIL：eigyou@nabic.co.jp